

# 川は命を抱き育む水の流れ 見るだけで人の心を癒してくれます

高時川の土手を車で走るだけでなく、たまには河原に降りて川のある風景を眺めてみませんか。見慣れたはずの高時川が、年により、季節により、そして時刻によりその姿を刻々と変えています。そんな高時川の魅力について、上流域の白髭正美さん（木之本町杉野）と中流域の赤尾宗明さん（高月町保延寺）にお話を伺いました。

## 四季に応じて

### 色と姿を変える高時川

上流域の白髭さんが最も好きなのは春の高時川です。

「ケヤキの新芽のころは、川底のコケが少ないこともあって、豊かな雪解け水の流れが『力強い濃い青色』をしていて、とてもきれいですよ」

雪深い湖北では、雪解け水は待ちわびた春到来のシンボル。河原から眺める山の木々には新芽が芽吹き、見ているだけで命の息吹が伝わってきます。河原には鮮やかな緑のカワラゼンマイ（ゴゴミ）があちこちに顔を出し、河原にたたずめば柔らかな陽に包まれ、まだ冷たい風を忘れさせてくれます。高時川は3月にアマゴ、イワナが解禁となる川。釣りが趣味の白髭さん、川のせせらぎや鳥のさえずりを聞きながら清流にすむアマゴの魚影を追っていると、時間のたつのも忘れられると言います。

夏になると川の色は緑がかり、空の青、山の濃緑と絶妙の調和を見せます。

「特に静かな早朝はいいですね。自分が自然に溶け込んだような気分になりますから。水量が多くゆったりと流れる川の水が『優しい色』に見えますね」

出水によって瀬の位置や洲の形が変わり、高時川自体の変化が楽しめるのもこの時期。水温が高くなると水の中の生き物が増え、魚の動きも活発になります。魚のすむ場所も変化するため、釣り人にとって楽しい時期でもあります。7月にはアユも解禁されます。丹生川を上ってくるスマートで精悍なアユはとてもおもしろく、京阪神や岐阜・大垣からも釣り人が訪れるそうです。秋は色と紅葉時期の違う落葉樹が次々と秋の装いに「着替え」、松などの常緑樹と織りなす綾の変化が、まるで絵画のような世界を楽しませてくれます。

白髭さんが好きな場所や川の姿は、「山裾を縫うように流れる高時川を眼下に望める、菅並脇の林道横山線からの景色」

「岩と水の変化が多い、菅並と上丹生の間 地図①」「流れが穏やかで、川岸のケヤキやハンノキを見ていると心が静まる、上丹生のすぐ上流 地図②」「大正時代にできた取水堰が周りの景色と調和していて、横に県道があるとは思えないほど静かな、大見発電所取水堰付近 地図③」だそうです。

川と共にある「人の営み」も癒しに絵を描くことが趣味で散策しながら高時川を味わうことが多いという、中流域に在住の赤尾さんは、高時川の四季による変化が楽しいと言います。春は山や土手の新緑が川面に映り、川沿いに多く自生している真竹や淡竹が鮮やかな黄緑色に染まります。足元にはカシなどの木々の「春落ち葉」が

一面に敷き詰められ、散歩するだけで心がなごみます。

夏は山も川も一気に深緑に変わり、また、秋は紅葉、とりわけ井明神橋のたもとにあるケヤキが真っ赤に変身して、色の変化を楽しませてくれます。

## （地図⑦）

冬は「転じて雪と水だけの景色。」

「無駄なものがないにもない簡略化された美しさでもいのでしょいか、引き込まれるような寂しさの世界もまた魅力的です。中でも雪の降るときは大変静かで、一幅の山水画の世界にたずんでいるかのようです。川の水も澄み切っており、空から落ちてくる雪が水面に消えていく…この瞬間が好きですね」

四季を通して感じるのは、中流域ならではの味わいだと言います。

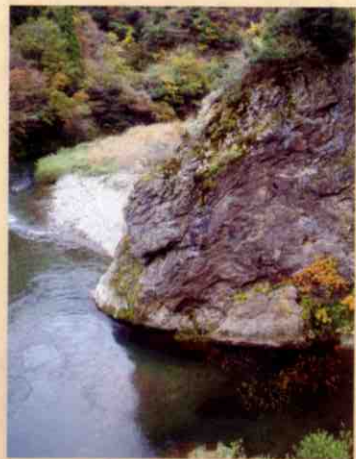
「上流域の流れは激しく、下流域はゆったりとした感じですが、中流域はその中間。ゆったりとした水の流れと、川と共に生きている流域の人たちの生き生きとした暮らしが共に感じられ、川の姿として最も美しいと思います。心がなごみますね」

赤尾さんが散歩コースとして気に入っている所は、「雨森橋から上流の井明神橋の間。特に富永橋の少し上流でゆったりと水が流れている所 地図⑧」と「石道寺近辺 地図⑨」だそうです。

## 人は「命」に触れて元気になる

木々や草花、川にすむ魚…さまざまな命を抱きながら、季節や流域ごとに姿を変える高時川。それはまるでつもの生き物であるかのようです。訪れる人、見る人の心を癒し「元気」にしてくれるのは、川にはそうした命の息吹が満ちているからかもしれません。もし、そこに高時川がなかったら…。想像するだけで、当たり前と思っていた高時川の存在が、いかに「ありがたく」、私たちの心を豊かにするものなのかが分かります。

先日、慣れ親しんだ川を見に行きました。天気もよく、山も色づいたいい景色でした。そのとき、今まで見たこともないほど澄んだ水の淵を見つけました。上流から流れ込んだ落ち葉が底に沈んで重なり、清流こそしたゆたうその姿に感動しました。



西吉ノ辺橋と東吉ノ辺橋の間 地図①



大見発電所取水堰 地図③



八田部橋より下流を望む 地図②



取水堰の下流にある吊橋 地図④



「井明神橋より下流を望む」 地図⑦



取水堰の下流にある吊橋より下流を望む 地図⑤



川合付近 地図⑥



「富永橋より横山岳を望む」 地図⑧

## お話を伺った人



白髭正美さん  
木之本町杉野在住



赤尾宗明さん  
高月町保延寺在住  
掲載いたしました絵画2点は  
赤尾さんの作品です。

## 俳句の風景

谷口秋翠

水澄むや淵の底まで届く目筋  
淵に出て落葉は筏組み直す

秋翠